

【導入科目】

基礎ゼミナール

【基礎ゼミナールの概要】

少人数のゼミナール方式によって、高校までとは異なる、大学における自主的な勉強方法について学びます。また、安全で健康的な学生生活を送るための基礎知識についても学習します。担当教員の説明を一方的に聞くのではなく、受講するみなさんの積極的な授業活動や、課外学習が中心となります。そして、自らの学習記録（ラーニング・ポートフォリオ）を作成します。授業で扱われる具体的な課題や教材は、学部・学科・課程等や、担当教員によって異なります。

【基礎ゼミナールの達成目標】

- 1) 自主的な学習態度を獲得すること
- 2) 課題発見能力を高めること
- 3) 資料(情報)の検索・収集・整理に関する基本的な技能を習得すること
- 4) 基本的な文章構成力・発表能力・討論能力などを獲得すること
- 5) 学生と担当教員、および学生相互におけるコミュニケーションの場を作り出すこと
- 6) 安全で健康的な学生生活を送るための基礎知識を習得すること

【クラスの編成】

以下のそれぞれの単位ごとに、入学時の学籍番号でクラスが決まります。クラス分けは、開講時に掲示などで発表されます。

- 人文学部：課程ごとのクラス分け
- 教育学部：課程・専攻・専修ごとのクラス分け
- 医学部医学科：学科としてのクラス分け
- 医学部保健学科：専攻ごとのクラス分け
- 理工学部：学科ごとのクラス分け
- 農学生命科学部：学科ごとのクラス分け

【成績評価で重視されることから】

平常評価：授業への出席と、授業中の活動、準備学習の状況など。

中間評価：途中で何度か課される、小レポートや課題、発表など。

期末評価：授業の最後に課される、レポートや課題、発表など。

以上を合計して評価が行われます。

- 1) 基礎ゼミナールは、授業に出席することが学習の大前提です。理由のない欠席は慎みましょう。
- 2) それ以外の、各種の課題やレポートの設定、そのテーマなどは、学部・学科・課程ごとの運営方針や、担当教員によって異なります。

【教科書、課外で読んでおくべき文献・資料など】

それぞれのクラスで、担当教員ごとに説明があります。学部・学科・課程によっては、共通教科書を用いる場合もあります。また、教科書は用いない場合もあります。

【みなさんへのメッセージ】

基礎ゼミナールで学習する、資料・情報の検索・収集方法、レポートのまとめ方、授業での発表のしかたなどは、これからの大学での学習で欠かせない基本的な技能です。4年間あるいは6年間の学習生活を効果的に進めるために、この授業で基礎的な技能をしっかりと身につけましょう。

特に、受け身の姿勢ではなく、自ら能動的に授業に加わり、課外で学習するという、積極的な姿勢を養うことが、今後の大きな財産となります。そのための一つの手法として、自らの学習記録（ラーニング・ポートフォリオ）を作成し、自己省察の材料とします。

また、高校までとは異なり、恒常的な「クラス」が設定されない大学では、教員や学生仲間とコミュニケーションを取る場がなかなか見つかりません。基礎ゼミナールという少人数授業を通じて、担当教員や同じゼミナールに所属した学生達と積極的にコミュニケーションを行い、大学生活に慣れていきましょう。さらに、学生生活面でのいろいろな留意事項を知ることにより、さまざまな犯罪や事故に巻き込まれたりすることなく、心身ともに健康な学生生活を送ることができるようになります。